



～済生会今治病院専門認定看護師レター～第5号 2015年1月発行

みなさま、あけましておめでとうございます。
年末年始は勤務で、本格的な休みはこれから…。という方もいらっしゃるでしょう。

昨年は、みなさまにとってはどのような1年でしたか。

当院専門認定看護師委員会にとっては、磐浅さんが皮膚排泄ケア認定看護師として更新審査を受け無事更新をしました。また、西村さんは、初めて認定教育課程の学生さんの実習を引き受け、実習最終日を迎えることができました。

初めて当院で認定看護師教育課程の実習をされた方にインタビューを行いました。みなさまの何らかのきっかけになればと思い、実習生には承諾を頂いた上でインタビュー内容を掲載いたします。

1. 専門・認定看護師教育課程における実習

専門看護師・認定看護師になるための教育機関での実習は、専門看護師はスケジュールの組み方で期間はまちまちで、認定看護師は6か月～最大12か月です。その期間の間に、共通科目、専門教育科目、専門実習が組み込まれており、修了・卒業に必要な単位を修得していきます。

川森は、県内では、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、障がい者支援センター、保健所(県、中核市)で実習を行いました。県外実習は、地域看護専門看護師に在籍する訪問看護ステーションで行いました。

西村は、山口県内で病院実習を行いました。他学外実習として環境保健センター、感染症病棟・感染性廃棄物処理場の見学を行いました。

<教育課程における実習期間>

専門看護師:6単位 実習は単に実践するだけでなく、スーパービジョンや事例
検討、討議セミナーなど 多様な方法を取り入れて実施する。
認定看護師:200時間以上 実習は実践、指導、相談を実習施設で各分野の
特性に基づき実施する



2. 今回初めて当院で実習を行った看護師さんへのインタビュー

済生会今治病院ではどのようなご印象を持たれましたか？

外からではなく実習させて頂くために中から拝見し
とてもしっかりと支援活動をされていることが印象的でした。
先生からお話を伺い、フットポンプを使ってしっかりと
血栓予防を行っていることが印象的でした。



施設が新しく、ホスピタルストリートが特に広く
ゆったり解放感があると感じました



認定看護師を目指そうとされたきっかけ・動機について教えてください



看護師として働いていく中で認定看護師の取得を考えていました。病院から感染管理認定看護師を受けてみないかと言われ挑戦しました。

針刺事故後に劇症肝炎を発症され、亡くなった同僚がいました。院内でミニカンファレンスを行ったりしましたが、“感染事故”を防ぐためにも感染管理認定看護師を受けてみようと思いました。



山口県立大学看護研修センター感染管理認定看護師教育課程に進学されたのは？

家族の協力も得ながらなので、『距離』を中心に神戸か山口かで検討した結果、山口を選択しました。



受験の時期や学校によって必要な費用も異なります。山口は事前に学校の『説明会』もあったので、山口を選びました。



実践報告

磐浅 ストーマ外来(平成26年1月～12月)のべ人数152名
西村 毎木のICT廻診、職員インフルエンザワクチン接種、保健所監査・がん拠点病院監査対応
川森 療養支援報告(平成26年10～12月延べ人数)在宅137名、当院入院96名、他院入院8名
重松 11月9日糖尿病市民公開講座～フットケア～



教育・研修報告

永井 11月8日東予地区訪問看護ステーション連絡協議会研修会「緩和ケアについて」
磐浅 12月2日潜在看護師支援 12月4日大洲中央病院褥瘡研修
西村 11月9日医療マネジメント学会えひめ口演 12月1日潜在看護師研修
12月4日清掃業者勉強会
川森 10月15日今治看護専門学校 11月4日西条高校 11月7日院内研修
11月30日第19回日本在宅ケア学会発表
重松 10月24日第52回糖尿病学会中四国地方会発表



2月7日 事例を通して考える認知症ケアの現状と課題 @看護協会研修センター
2月8日 愛媛がんフォーラム「がんになっても安心して暮らせる愛媛を目指して」@全日空ホテルサファイアールーム
2月14日 終末期がん患者と家族の望みを叶える ～在宅緩和ケアコーディネーターとは～ @四国がんセンター
* 事前申し込みが必要

編集責任:川森 西村